

◆第1章

[問題 1-1]

(1) ① _____ ② _____

(2) _____

[問題 1-2]

(1) _____ ① _____ ② _____ ③ _____

(2)

[問題 1-3]

(1) _____

(2) _____

(3) _____

(4) _____

[問題 1-4]

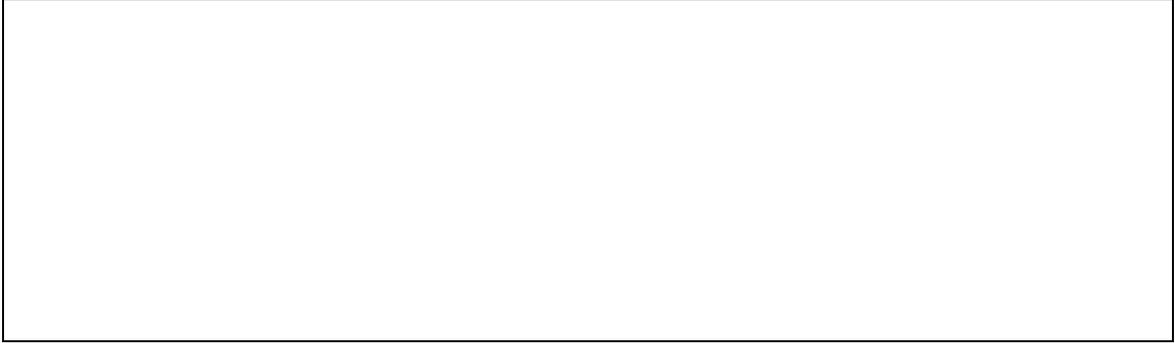
① _____ ② _____ ③ _____ ④ _____ ⑤ _____ ⑥ _____

⑦ _____ ⑧ _____ ⑨ _____ ⑩ _____ ⑪ _____ ⑫ _____

[問題 1-5]

(1) _____

(2) _____



◆第2章

[問題2-1]

- (1) 資 産 ()
- (2) 負 債 ()
- (3) 純資産 ()
- (4) 収 益 ()
- (5) 費 用 ()

[問題2-2]

期首純資産(¥)，期末純資産(¥)
 当期純 () (¥)

[問題2-3]

貸借対照表

() 商店 ×年 () 月 () 日 (単位：円)

資 産	金 額	負債および純資産	金 額

[問題2-4]

- (1) 期間費用 _____ 期間収益 _____ 当期純損益 _____
- (2) 期間費用 _____ 期間収益 _____ 当期純損益 _____
- (3) 期間費用 _____ 期間収益 _____ 当期純損益 _____

◆第3章

[問題3-1]

[問題3-2]

- (1) _____ (2) _____ (3) _____ (4) _____
 (5) _____

[問題3-3]

売掛金	資本金
() ()	() ()
備品	建物
() ()	() ()
借入金	買掛金
() ()	() ()
給料	支払家賃
() ()	() ()
商品売買益	受取手数料
() ()	() ()
水道光熱費	受取利息
() ()	() ()

[問題3-4]

現金	売掛金

商 品

--	--

資 本 金

--	--

支 払 家 賃

--	--

借 入 金

--	--

商 品 売 買 益

--	--

◆第4章

[問題4-1]

	借方科目	金額	貸方科目	金額
5/5				
8				
10				
15				
23				
31				

現 金		売 掛 金	
商 品		備 品	
資 本 金		商 品 売 買 益	
給 料			

[問題4-2]

	借方科目	金額	貸方科目	金額
5/1				

買 掛 金

4

--	--	--	--	--	--	--	--	--

資 本 金

5

--	--	--	--	--	--	--	--	--

商 品 売 買 益

6

--	--	--	--	--	--	--	--	--

広 告 宣 伝 費

7

--	--	--	--	--	--	--	--	--

水 道 光 熱 費

8

--	--	--	--	--	--	--	--	--

[問題5-4]

仕 訳 帳

3

×年		摘 要	元 丁	借 方	貸 方
		前ページ繰越	✓	15,000	15,000
6	1	(現金)	1	2,500	
		(資本金)	6		2,500
	2	()		1,000	
		(現金)	1		1,000
	5	(商品)	3	500	
		(買掛金)	5		500
	14	(商品)		()	
		()			500
	15	(商品) 諸口	3	1,500	
		(現金)	1		()
		()			1,000
	20	(売掛金) 諸口	2	1,000	
		(商品)			800
		()			()
	25	(給料)	9	()	
		()			100
	30	(現金) 諸口	1	1,050	
		(貸付金)			()
		()			50

総勘定元帳

現 金

1

×年		摘 要	仕 丁	借 方	×年		摘 要	仕 丁	貸 方
6	1	資本金	3	2,500	6	2	貸付金	3	1,000
	30					14			500
						15			500
						25			100

売掛金

2

6	20							
---	----	--	--	--	--	--	--	--

商品

3

6	5	買掛金	3	500	6	20		
	14			500				
	15							

貸付金

4

6	2			1,000	6	30		1,000
---	---	--	--	-------	---	----	--	-------

買掛金

5

					6	5	商品	3	500
						15			1,000

資本金

6

					6	1	現金	3	2,500
--	--	--	--	--	---	---	----	---	-------

商品売買益

7

					6	20			200
--	--	--	--	--	---	----	--	--	-----

受取利息

8

					6	30			50
--	--	--	--	--	---	----	--	--	----

給料

9

6	25			100					
---	----	--	--	-----	--	--	--	--	--

◆第6章

[問題6-1]

合 計 試 算 表

借 方	元丁	勘定科目	貸 方
	1	現 金	
	2	売 掛 金	
	3	商 品	
	4	備 品	
	5	借 入 金	
	6	資 本 金	
	7	商品売買益	
	8	受取手数料	
	9	広告宣伝費	
	10	支 払 利 息	

[問題6-2]

残 高 試 算 表

借 方	元丁	勘定科目	貸 方
	1	現 金	
	2	売 掛 金	
	3	商 品	
	4	建 物	
	5	備 品	
	6	買 掛 金	
	7	借 入 金	
	8	資 本 金	
	9	商品売買益	
	10	受取手数料	
	11	給 料	
	12	広告宣伝費	
	13	支 払 利 息	
	14	雑 損	

[問題6-3]

合 計 残 高 試 算 表

借 方		元丁	勘定科目	貸 方	
残 高	合 計			合 計	残 高
		1	現 金		
		2	売 掛 金		
		3	商 品		
		4	貸 付 金		
		5	建 物		
		6	備 品		
		7	土 地		
		8	買 掛 金		
		9	借 入 金		
		10	資 本 金		
		11	商品売買益		
		12	受取手数料		
		13	受取利息		
		14	給 料		
		15	広告宣伝費		
		16	水道光熱費		
		17	支払利息		
		18	雑 損		

[問題6-4]

精 算 表

勘定科目	元丁	残高試算表		損益計算書		貸借対照表	
		借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	1						
売掛金	2						
商品	3						
貸付金	4						
建物	5						
備品	6						
土地	7						
買掛金	8						
借入金	9						
資本金	10						
商品売買益	11						
受取手数料	12						
受取利息	13						
給料	14						
広告宣伝費	15						
水道光熱費	16						
支払利息	17						
雑損	18						
当期純()							

[問題6-5]

(1)

合 計 試 算 表

借 方	元丁	勘定科目	貸 方
	1	現 金	
	2	売 掛 金	
	3	商 品	
	4	貸 付 金	
	5	建 物	
	6	備 品	
	7	土 地	
	8	買 掛 金	
	9	借 入 金	
	10	資 本 金	
	11	商品売買益	
	12	受取手数料	
	13	受取利息	
	14	給 料	
	15	広告宣伝費	
	16	水道光熱費	
	17	支払利息	
	18	雑 損	

(2)

精 算 表

勘定科目	元丁	残高試算表		損益計算書		貸借対照表	
		借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	1						
売掛金	2						
商品	3						
貸付金	4						
建物	5						
備品	6						
土地	7						
買掛金	8						
借入金	9						
資本金	10						
商品売買益	11						
受取手数料	12						
受取利息	13						
給料	14						
広告宣伝費	15						
水道光熱費	16						
支払利息	17						
雑損	18						
当期純()							

◆第7章

[問題7-1]

社会的制度としての会計は、基本的に期間（ ）計算の職能を担っている。それは、通常1ヵ年の（ ）期間（事業年度ともいう）ごとに行われる。そこで、事業年度の終わりに、諸帳簿の記録を整理して締め切り、（ ）や（ ）などの財務諸表を作成するとともに、次の事業年度への帳簿記録の引き継ぎを行うことを、決算という。決算の基準日となる会計期間の終了日を決算日または（ ）日という。決算日は（ ）または単に（ ）、あるいは事業年度末または単に年度末とも呼ばれる。

決算は次のような手順で実施される。

- (1) 決算予備手続：（ ）を作成し、（ ）の正否を検算する。
- (2) 決算本手続：主に（ ）を締め切ることから構成され、次のような順序で実施される。

①（ ）・（ ）に属する勘定の残高を損益勘定に振り替え、それらに属する勘定口座を締め切る。

②損益勘定の残高として、当期（ ）または当期（ ）を求め、それを（ ）勘定に振り替える。同時に、損益勘定を締め切る。

③（ ）・（ ）・（ ）に属する勘定の残高を次期に繰り越し、それらに属する勘定口座を締め切るとともに、次期の開始記入を行う。

④（ ）・（ ）・（ ）に属する勘定の繰越記入の正否を検算するため、繰越（ ）を作成する。

⑤損益勘定の記録内容から（ ）を、また、繰越（ ）の記録内容から貸借対照表を作成する。

このような取引の認識から記帳、決算までの一連の手続の流れを（ ）の手続とよぶ。

